

# しんろだより

No. 1 令和8年4月23日発行  
京都府立南山城支援学校  
進路指導部

令和8年度になり「しんろだより」をご覧の皆様、今年度もよろしくお願ひ致します。「進路」という言葉を聞くと、「高等部の卒業間近」や「堅苦しい」というイメージがあるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。

中央教育審議会では「**キャリア教育**」の定義を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」としており、ここの「**キャリア発達**」について「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」としています。つまり、児童生徒一人一人がそれぞれの段階に応じて適切に自己と働くことの関係付けを行い、自分らしい生き方を実践していくことが大切であるということが示されています。

この「しんろだより」では、学校での活動や学習が卒業後の将来にどのようにつながっていくか分かりやすく紹介できたらと思います。定期的に更新していきますのでよろしくお願ひ致します。



## 進路先決定のための進路指導

本校の進路指導では、生徒が自分のやりたいことや将来について考え、見学や体験、実習を行いながら、自分自身で進路先を決定することを大切にしています。生徒面談や保護者懇談も定期的に設定し、生徒や保護者の希望や思いも聞き取りながら進めています。また、相談支援センターやハローワークといった関係機関とも連携しています。

## お知らせ

①今年度も昨年度同様、行政や福祉事業所からの情報や案内を保護者専用のホームページより発信していきます。定期的にご確認いただけたらと思います。

②令和8年5月21日（木）10:00～12:00に本校の体育館にて「卒業後のこれから～多様なはたらき方を知る会～」が開催されます。対象は高等部生徒の保護者です。主に山城南圏域の福祉事業所にお越しいただき、それぞれの事業所の説明や個別相談の時間を設定致します。詳細は4月10日（金）配布のプリントをご確認ください。たくさんのご参加お待ちしております。